



2021・5・17
No.2

ふたばの自然～園庭でみつけた生き物～

今年は例年になく早い梅雨入りになりましたが、天候のよい日はみんなで園庭に出ています。自然豊かな豊能町ですが、園外には出かけなくても、園庭ではさまざまな生き物を発見します。



ここにもいるかな…



あ、昇ってきた…



モミジの枝にもテントウムシは卵を産みます

三輪車やブランコで遊びながら、虫探しも楽しんでいます。園庭ではテントウムシが度々見られます。これは、テントウムシの成虫が園庭のモミジの枝に卵をたくさん産んでいるからです。モミジの枝をよく見ると、幼虫の姿が観察できます。テントウムシは成虫も幼虫もアブラムシを食べます。

わざわざ捕まえて飼育ケースに入れなくても、園庭に遊びに出るだけで、虫の生態が観察できます。捕まえて、大事そうにケースやバケツに入れている子どもたちも、かたづけの時間になると放しています。



これは何かな？
(答えは下にあります)

園には生き物を扱った絵本も置いてあります。お家でも一緒に読んでみてください。



絵本 てんとうむしのてんてんちゃん

高家 博成・仲川 道子/作 童心社

テントウムシはてっぺんまで来ると飛びたくなるとか、トカゲに襲われると苦い液を足の付け根から出して逃げるなど、かわいいお話の中で自然の知識が身につきます。これは「かわいいむしのえほん」シリーズの中の1冊でさまざまな虫のお話があります。他にはカブトムシ、クワガタムシ、ダンゴムシ…などの本があります。

答え：テントウムシの幼虫